

※ わったーうるま 応援団

うるま市をこよなく愛し、うるま市が大好きな私たちが、
それぞれの視点でうるま市の魅力をご紹介します！
うるまんかい、めんそーりよー！（うるまにいらっしやい！）

※「わったー」とは、沖縄方言で「私たち」の意味

Uruma City
Supporter

01



うるま市観光物産協会 理事長 **石川 裕憲**

うるま市観光物産協会では、うるま市が実施する観光振興施策に基づき、うるま市への県内外からの観光客の誘客と農水工商連携による地産地消を促進し、市全体の活性化や地域社会の健全な発展に寄与することを目的に活動しています。中でも、訪れた観光客へうるま市の海や島々の景観、そして闘牛やエイサーに代表されるイベントなど、たくさんの「観光のおもてなし」により、最高の思い出づくりをお手伝いしています！
今後、勝連城跡周辺整備事業をとおして、市と協会が積極的な連携を図り、世界遺産の価値を存分に味わえるこれまで以上に充実した観光コンテンツの創設を目指すことで、うるま市全体の観光の魅力向上につなげていきます！



Uruma City
Supporter

02



うるま市商工会 会長 **新垣 壮大**

うるま市商工会は、地域の商工業者が会員となり、お互いの事業の発展や地域の発展のために総合的な活動を行う団体です。主な活動は、地域商工業者の経営の改善発展を図る「経営改善普及事業」と地域経済の活性化を図る「地域総合振興事業」に取組み、商工業の振興と元気な地域づくりに努めています。商工会でも、勝連城跡を中心に「勝連半島・島しょ地域の魅力と付加価値創造」に向けた事業を展開しており、行政が進める勝連城跡周辺整備事業と関連した観光開発や特産品開発等に取組んでいます。今後も、勝連城跡の魅力をもっと高めていくため、行政と連携して地域振興に資する事業を展開してまいります。



Uruma City
Supporter

03



うるマルシェ指定管理者共同代表
株式会社 ファーマーズ・フォレスト 代表取締役社長 **松本 謙**

平成30年11月に開業したうるマルシェは、産直施設をはじめ、飲食施設や交流施設を付帯した県内最大級の第6次産業化複合拠点施設であり、うるま市の“食のエンジン”としての機能を担っております。うるマルシェでは、うるま市民はもとより、多くの市外の方へうるま市内で生産された新鮮な野菜や畜産物、近海で水揚げされた水産物の提供を通して、うるま市の魅力を発信しております。今後、世界遺産・勝連城跡周辺整備事業の展開とともに、うるま市の観光への期待値が高まっていく中、食の流通や施設間の相互送客効果等、当該整備事業を通じたエリア活性化の仕組み作りや当施設も積極的に関わって参りたいと考えております。



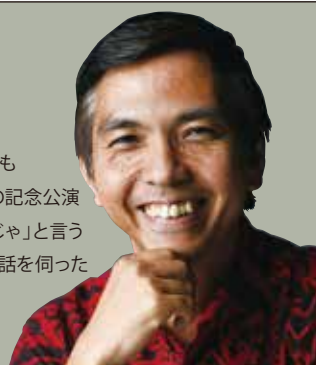
Uruma City
Supporter

04



肝高の阿麻和利 初代演出家/南島詩人 **平田 大一**

勝連城十代目城主「阿麻和利(あまわり)」を主人公にした舞台「肝高の阿麻和利」を上演したのが2000年3月、勝連城は機を得た様にその年12月に世界遺産にも登録されました。それから20年近く、世代交代を続けながらも上演してきた舞台は公演回数300回を超え、観客動員18万人余り、また本年8月には東京国立劇場大ホールでの記念公演を実現させ、現在も記録更新中です。実は脚本中に「この勝連半島を豊かな蓬莱島にするのがワシの夢じゃ」と言う阿麻和利王の未来を予見したかの様な台詞があります。初演から約20年、今回のカッチングスクの整備事業の話を持った時、まさに！誇り高さあまわり浪漫の夢が実現するのだと胸が躍りました。「勝連城と阿麻和利の物語をドラマティックに」がコンセプトのこの魅力的な取り組みに私も全力で応援していきます！



うるま市 都市建設部 勝連城跡周辺整備室
〒904-2292 沖縄県うるま市みどり町一丁目1番1号
TEL.098-923-7606 FAX.098-923-7604 E-mail:katsurenjo-seibi@city.uruma.lg.jp

2020年3月

ようこそ！

世界遺産・勝連城跡のまち

魅力あふれる珊瑚の島うるま市へ。

※市名は「珊瑚の島」を意味する古い沖縄方言(ウル=珊瑚、マ=島)に由来します。



“さんごの島”
うるま市の自己紹介



公式まちキャラ：うるうらら



【アクセス】

那覇空港から
沖縄自動車道経由で
約60分

誕生日 2005年4月1日(旧具志川市、旧石川市、旧勝連町及び旧与那城町の合併により)

地理 那覇市より北東へ約25km、沖縄県東海岸に位置し、東に金武湾、南に中城湾を望む。県内中部地域では唯一有人離島(津堅島)を有する

人口 124,681人(2020年3月1日現在・県下3番目)

産業 中城湾港新港地区で経済特区(製造等)や沖縄IT津梁パーク(情報通信)での企業誘致を積極的に展開

農水産業 県内一の生産を誇るもずくや、南国感溢れるマンゴー、勝連南風原のオクラ、照間ピーグ(い草)の生産が盛ん

歴史 世界遺産「勝連城跡」に代表される歴史遺産が点在

公式まちキャラ うるうらら(2015年3月5日生まれ)サンゴの種の妖精

観光 県内随一の規模を誇る闘牛やエイサー、美しい自然景観が織りなす海中道路やビーチが自慢

那覇空港

うるま市
勝連城跡



「公と民のパートナーシップによる新たな時代のプロジェクト」



勝連城跡からの眺望(完成イメージ)

肝高の精神が息づく世界遺産・勝連城跡から うるま市全体の活性化を目指して

※肝高とは、沖縄最古の歌謡集「おもろさうし」にある古語で、「心豊か」「気高い」などを意味し、高い生活文化を称えた勝連および勝連域の美称。



ごあいさつ うるま市長 島袋 俊夫

“さんでの島”の意味を持つ「うるま」。その名のとおり本市には美しい海、沖縄の原風景が未だ残る島しょ地域の自然、そして世界遺産の勝連城跡に代表される歴史文化遺産など、多彩で美しい景観が数多くあります。

また、県内有数の観光スポットである海中道路や、県内随一の人気と規模を誇る闘牛、沖縄食材が堪能できるうるまマルシェ、さらにはエイサー発祥の地うるま市ならではのエイサー祭りを代表に、年間を通じて開催される多彩なイベントなど、本市には魅力満載の観光施設や素材があふれています。

本誌で紹介する勝連城跡周辺整備事業は、民間事業者と行政との積極的な連携のもと、世界遺産の価値の保全並びに利活用による観光拠点としての整備をおと、民間事業者様にとつての新たなビジネスチャンスを創出することで、本市が持つ観光ポテンシャルの最大化を実現し、うるま市全体の活性化へと繋げていきます。

勝連城跡周辺整備事業 年々高まる観光需要に応える大型事業

2000年に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして世界遺産に登録された勝連城跡は、風光明媚な景勝地として県内でも有数の観光スポットとなっています。

うるま市では、歴史文化とのふれあいなど、多くの可能性を秘めた本城跡の利活用をおと地域活性化を促進させることを目的とした「勝連城跡周辺整備事業」を進めています。本事業は、「勝連城跡」「文化観光施設」「勝連城跡公園」の3施設が効果的に連動し、周辺一帯の誘客力の強化と滞在時間の延長を図り、飲食機会、宿泊機会などの増加による観光消費の拡大をめざしています。



展示室・ライブシアター

勝連城と阿麻和利の物語をドラマティックに。
ミュージアムとライブステージが融合した
新しいガイドンス展示を実現します。



企画展示室

常設展示室

ライブシアター

ショップ・レストラン



“うるま”ならではの特産品を使った 食や物をお届けします。

勝連城と阿麻和利



勝連城は15世紀の琉球王国の王権が安定していく過程で、国王に最後まで抵抗した有力な按司(城主)・阿麻和利の居城であった。阿麻和利は当時悪政に苦しんでいた民衆を救うとともに、活発な交易により、勝連地域にかつてない繁栄をもたらした、まさに「肝高=気高い」と呼ぶに相応しい偉大な人物です。

花や緑があふれ、
水辺を楽しめる
観光拠点
としての公園が
誕生します。

世界遺産の
お膝元にふさわしい
ホテル
を誘致します。

人々の交流を
生み出す
魅力的で多彩な
イベント空間
を創ります。





勝連城跡 **動画で
伝えます**



うるマルシェ **HPで
伝えます**



海中道路・島 **動画で
伝えます**

URUMA CITY INFORMATION

美しく自然豊かな島々と青い海、うるま市の観光スポットに特産品、各種イベントの魅力をご紹介します！

ISLAND 島



～本島と島々を結ぶ玄関口～ **海中道路・平安座島**
全長4.7kmで東洋一の長さを誇る海中道路の先にはかつて交易の中継地として栄えた海人(うみんちゅ)のまち、平安座島があなたをお出迎え。夜間ライトアップされた幻想的な海中道路は、藪地大橋からの眺めがおススメです。



～時が止まる非日常空間～ **伊計島**
夏場のビーチには多くの観光客で賑わいをみせる島々の最先端・伊計島は、一歩集落内に足を踏み入れると、そこは悠久の時を感じさせる石積みやフクギの群生がまるで時を止めたかのようなスロークライフをあなたに与えてくれます。



～古き良き沖縄の原風景～ **浜比嘉島**
浜と比嘉の2つの集落から成る浜比嘉島は、沖縄ならではの赤瓦屋根や石垣・石積みが当時のまま残されており、サンゴで形成された小道を通る度に響き渡る心地よい音色があなたの心を癒します。



～小さな海洋冒険～ **屋慶名海峡・藪地島**
本島・屋慶名地域と藪地島に挟まれた「屋慶名海峡」は、その自然が醸し出す美しい景観により行き交う船をまさに海洋冒険船のごとく演出し、あなたのワクワク心をくすぐります。



～風光明媚な高台の島～ **宮城島**
周囲12kmの宮城島は、島全体が高台となっており、標高121mからオーシャンビューが眺められる風光明媚な島です。特に島の景観スポット「シヌグ堂」からは、どこまでも続く水平線を望むことができ、自然の雄大さに改めて気付かされます。



もっと知りたい！
うるま市のこと！



BEACH・OCEAN

ビーチ・海



伊計ビーチ(伊計島)
干満を気にせずに泳げるビーチ。透明度抜群の海水浴はもちろんバナナボートやジェットスキーなども楽しめます。



大泊ビーチ(伊計島)
伊計島の西側にある100%天然のビーチ。何も無い分だけ自然が満喫できます。サラサラの白い砂浜が続き、透明度も抜群。



トンナハビビーチ(宮城島)
宮城島にあるのがトンナハビビーチ。さとうきび畑を抜けると広がる海はパラダイス。



宇堅ビーチ
白い砂浜が美しいビーチ。夏になると市内はもちろん市外からの行楽客が訪れます。



ムルク浜(浜比嘉島)
まるで空中に浮いているかのような透きとおった紺碧の海で楽しむマリンスポーツで心も身体もフレッシュ。あなただけの遊びと空間を見つけてみてはいかがでしょうか。



ウクの浜(宮城島)
狭い林の小道を抜けた先には、白い砂浜と青い海、そして断崖絶壁の壮大な自然景観があなたをお出迎え。プライベート感覚で一日中のんびり過ごすのもあり。

SPOT スポット



ビオスの丘
「やすらぎと感動の提供」がキャッチフレーズの自然植物園。沖縄の豊かな自然が再現されており、ジャングルクルーズが人気です。



シルミチュー
比嘉村落内の森には、アマミチュー、シルミチューが住んだと伝えられており、洞窟内の鍾乳石は子宝が授かる霊石と言われています。



アマミチューの墓
比嘉村落の東側にはアマミチューの墓があります。長旅で島から出る時や外国に移住する時に拝み、無事を祈願します。



海の駅 あやはし館
海中道路の中央にある海の駅あやはし館。土産品店やレストランなどがあり、ドライブの途中に立ち寄るには最適な場所です。

みんなのうるま市の逸品

特産品はコチラから

うるま すぐりむん

うるまちゅめ



闘牛のまち **うるま**
2019.10.9
闘牛のまち宣言

**迫力満点！
沖縄一決定戦で
4,000人の観客が熱狂！**

県内随一の闘牛どころとして知られるうるま市では、春・夏・秋の沖縄一を決定する「全島闘牛大会」以外でも毎月闘牛大会が開催され、広く市民や観光客に人気のイベントとなっています。

動画で伝えます

毎月開催

EVENT イベント

1月～3月 **あやはし海中ロードレース大会**
開催時期：毎年4月第1日曜日
「磯のおおりに楽しみながら、海中道路を走ろう！」をキャッチフレーズに、ハーフ・トリムマラソンのコースが楽しめるマラソン大会です。

6月7月 **ハーリー**
開催時期：毎年5月4日(旧暦)後の日曜日
旧暦5月4日(ユッカヌヒー)を過ぎた日曜日(6月～7月)に、市内各地で豊漁を祈願したハーリー大会が予定されています。

8月9月 **うるま市エイサーまつり**
開催時期：毎年8月～9月頃(旧暦の7月)
うるま市の各青年会が一同に集まるうるま市の一大イベント「うるま市エイサーまつり」。伝統を継承する演舞は圧巻です！

9月10月 **全島獅子舞フェスティバル**
開催時期：毎年9月～10月頃
悪霊をはらい、五穀豊穡をもたらす獅子舞ゆかりの地、うるま市で県内各地域から選抜された獅子舞の勇壮な演舞をご覧ください！

10月 **うるま祭り**
開催時期：毎年10月
地域の伝統芸能やコンサートなど、バラエティーに富んだ内容のお祭りです。秋の夜空を彩る盛大な花火も必見です。

12月 **うるま市産業まつり**
開催時期：毎年12月第3土・日
各地域自慢の特産品、加工品などが集結するイベントです。即売会も行われるため多くの市民で賑わいます。